

■ 3/2(土)第2回ディスカッション フィードバック

テーマ 会計監査における確認手続（銀行等取引、債権残高、弁護士）のロールプレイ

酒井委員

今回ほど極端な例はないと思いますが、実際に注記漏れ等がありますので、調書作成段階で慎重な検討が必要です。

伊藤副委員長

納得感を大切にしてください。経理からの説明で納得できない場合、他部署(法務とか)へのヒヤリングも実務では有効です。

清水(秀)委員

ディスカッションお疲れ様でした。慣れない確認状のチェックだったので難しかった部分もあったとは思いますが、今回の経験を生かして実務で貢献していただければと思います。

牧原委員

違和感があったらチームメンバーに伝えるようにしましょう。

槇田委員

違和感に気付いても、会社とのコミュニケーションをしている中で具体的に出して欲しい証憑名が出てこなかったり、話している過程で追記すべき論点がずれてしまったり、いい意味でもどかしさを感じる経験ができたのではないのでしょうか。詰め切るために何が重要かという視点で振り返ってもらえればと思います。

佐々木委員

「必要な資料」や「手続きの目的」を明確に伝えられるようにしましょう。

宅見委員

グループ全員で協力して積極的に議論を進めており、とても良かったと思います。

伊井委員

現場で実際に会社へヒアリングする際も目的を意識してヒアリングするように心がけてください。困ったらすぐ先輩に相談しましょう。

岸田副委員長

チーム内で分担を決めて効率的にディスカッションできていた。
残高確認の資料を見るのは初めてであったと思うが真剣に取り組んでいた。

下村委員

まだ確認手続の実務をしていない方も多いかと思いますが、当研修が役に立てば幸いです。

半田委員

正しい部分への指摘が散見されましたが、実務の際には気を付けてください。

岡尾委員

多くの論点に気を付けていると感じました。チーム内での事前準備がしっかりできていたと思います。
ロールプレイにおいても突っ込んだ質問ができていたと思いました。